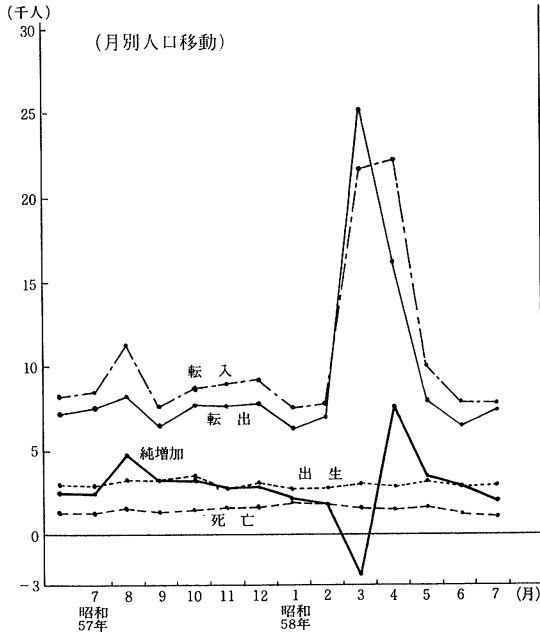


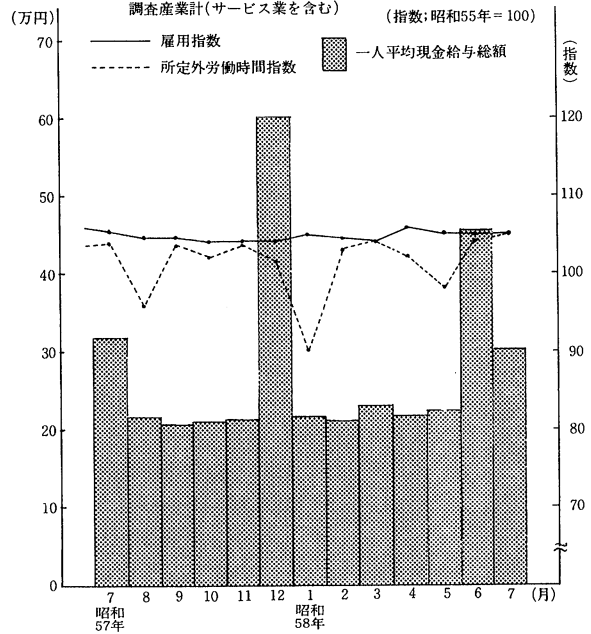
● 今月の主な動き

# 今月の主な動き

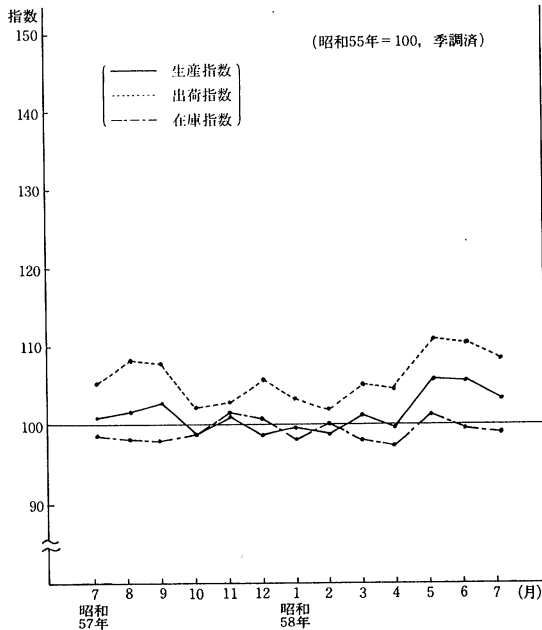
人 口



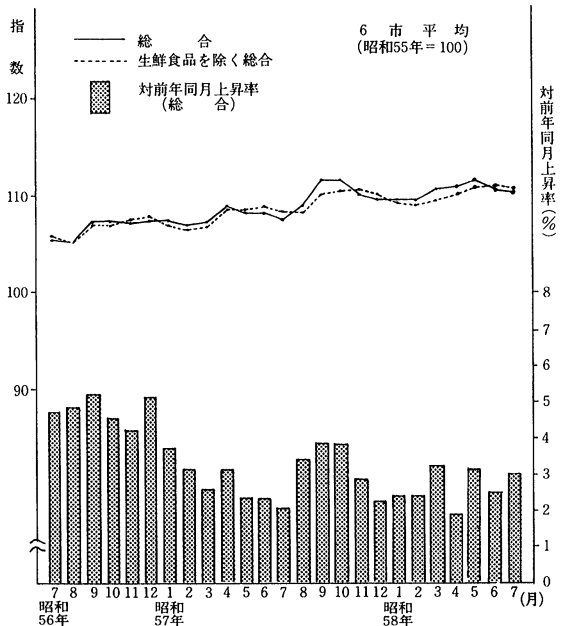
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (8月1日)

本県の人口は、7月中に2,128人増加し、2,658,658人となった。7月の増加としては、昭和56年の2,366人をも下回り、昭和43年以来最も少ない数である。昨年8月1日現在と比較すると34,176人(1.30%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,714人(出生2,916人、死亡1,202人)増加したが、社会動態ではわずかに414人(転入7,987

人、転出7,573人)の増加である。

市町村別では、増加14市55町村、減少4市18町村、増減なし1村である。増加市町村では水戸市、鹿島町、三和町等が、減少では日立市、土浦市、波崎町等が目立っている。

世帯数は523世帯増加し、735,663世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (7月)

1. 平均賃金の推移

7月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む。)1人1ヵ月平均現金給与総額は304,250円で、前月に比べ33.1%減(前年同月比2.7%減)であった。

このうちきまって支給する給与は212,663円で、前月に比べ0.3%増(前年同月比3.2%増)であり、特別に支払われた給与は91,587円で、前月に比べ151,096円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は182.8時間で、前月に比べ1.1%減(前

年同月比0.3%増)であった。

このうち所定内労働時間数は166.5時間で、前月に比べ1.3%減(前年同月比0.2%増)であり、所定外労働時間数は16.3時間で、前月に比べ1.3%増(前年同月比も同じ)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、105.2で、前月に比べ0.4ポイント減、前年同月ともちあいであった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(7月) — 前月比いずれも低下 —

昭和58年7月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が103.0、出荷が108.5、在庫が99.0で、前月比は△1.9%、△1.3%、△0.6%といずれも前月に引続いて低下した。前年同月比(原指数)は、3.0%、3.2%、0.7%といずれも上昇した。

生産を業種別にみると、鉄鋼、一般機械、化学等が上昇し、電気機械、食料品・たばこ等が低下した。

出荷を業種別にみると、鉄鋼、一般機械等が上昇し、輸

送機械、精密機械等が低下した。

在庫を業種別にみると、電気機械、パルプ・紙・紙製品等が上昇し、鉄鋼、食料品・たばこ等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、建設財、鉱工業用生産財等が上昇し、資本財、非耐久消費財等が低下した。出荷では、耐久消費財等が上昇し、資本財、非耐久消費財等が低下した。在庫では、耐久消費財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (7月) — 対前月比(-)0.5%の下落、対前年同月比(+)2.8%の上昇 —

昭和58年7月の茨城県消費者物価指数は、55年を100とした総合指数で110.4となり、前月に比べ(-)0.5%の下落、前年同月に比べると(+)2.8%の上昇となっている。

今月上がった主な項目……野菜・海草(+)4.5%(うち生鮮野菜(+)7.1%  
乳卵類(+)2.4%

今月下がった主な項目……果物(-)14.1%(うち生鮮果物

(-)14.6%)衣料(-)5.6%

費目別指数(55年=100)

1 食料は	110.6	6 保健医療は	105.7
2 住居は	112.0	7 交通通信は	106.8
3 光熱・水道は	108.9	8 教育は	127.6
4 家具・家事用品は	104.2	9 教養娯楽は	111.3
5 被服及び履物は	108.2	10 諸雑費は	112.3